

9月議会 一般質問

竹村眞弓議員 6番目に登壇

11名の議員が一般質問

8月29日、9月議会が開会されました。29日午後1時、一般質問通告が締め切れ、抽選の結果、11名の議員が次のような順序・日程で質問することになりました。

6日（火）午前

- 1, 立石泰広議員
- 2, 鈴木賢和議員
- 3, 木下 正議員

6日（火）午後

- 4, 太田裕介議員
- 5, 大場正昭議員
- 6, 竹村眞弓議員

7日（水）午前

- 7, 寺田 守議員
- 8, 山田貴子議員
- 9, 安間 亨議員

7日（水）午後

- 10, 黒岩靖子議員
- 11, 竹野 昇議員

竹村議員は6日の3時半頃

日本共産党の竹村議員は、6番目・6日（火）の最後質問者として、市長に質します。

時間は3時半ごろになる予定です。



是非、傍聴にお越しく下さい

会議の開始は、原則として、午前は9時、午後は1時15分です。

傍聴については、これまでの自粛要請は解除されました。受付時の検温、マスクの着用、手指消毒、座席の間隔をとるなど新型コロナウイルス感染症予防対策を十分して、傍聴は可能となりました。

また、インターネットでライブ中継がご覧いただけます。

竹村議員の質問内容

日本共産党の竹村議員は、次のような二つの問題について、市長・教育長に質問します。

潜在化している大きな社会問題 「8050問題」本気の取り組みを！

「ひきこもり」「孤立無業者」などと呼ばれる社会的な孤立状態にある人たちの増加は、社会の直面する問題です。

なかでも、中高年のひきこもりは61万人以上とのことです。そして、2020年の全国自治体の「ひきこもり死」の危険性があると推定された件数は、300件以上とのことです。SOSの声をあげられない多くの孤立状況が地域に潜在化しています。

「8050問題」該当世帯数の把握や相談件数など本市の状況、取り組みの評価と課題を尋ね、今後の対策改善を求めます。



带状疱疹が全国的に増加！ ワクチンで予防が可能であり、費用の助成を！

日本人の90%以上は、带状疱疹の原因となるウィルスが体内に潜伏しているため、加齢などによる免疫力の低下が発症の原因です。50歳代から発症率が急に高くなり、80歳までにおおよそ3人に1人が発症し、近年の高齢化とともに年々増加し2回以上発症する人もいます。

带状疱疹の予防は、ストレスをためないこと、免疫力を低下させないこと、そして、予防接種が有効と言われています。視力低下や失明、顔面神経麻痺などの重い後遺症が残る可能性があり、带状疱疹後の痛みは、QOLを低下させフレイルの進行にもつながります。

带状疱疹の認識について、予防接種の効果についてどのように考えているかを尋ね、带状疱疹が予防可能な疾患であることの周知やワクチン助成制度の検討を求めます。



法的根拠もなく、莫大な国費を使い、民主主義を破壊する

安倍元総理の「国葬」反対